



# 生石の福祉だより

編集・発行  
生石地区社会福祉協議会  
松山市南吉田町1800-1  
TEL(972)0323

第35号 令和5年9月1日発行

三年を超えるコロナウイルス感染拡大による行動制限はコロナウイルス感染が五類に分類変更されてから行動制限は解除されましたが、行動制限の間に高齢者の知力、体力は本人が認識している以上に低下しているという統計があるとのこと。また、少子高齢化や核家族と相まって地域のコミュニティの絆の希薄化の指摘もあります。高齢者が家から出て、体を動かし、人と会って話す機会を増やして老化を防ぐため、「集いの場づくり」、高齢者の「サロン活動」を支援していく必要があります。しかし、コロナウイルスの感染症は、収束したわけではありません。五類分類前と比較できるデータはありませんが、一部学校ではコロナウイルスによる学級閉鎖等が起きており、また、社会活動による感染もおきているようです。五類に移行され、行動制限がなくなつてからより身近な感染重症になったような感じがします。重症化の例は余り報告されていませんが、家族に感染者がでると、全員濃厚接触になるか、感染者となり、自宅療養となり外出出来なくなり食糧等

## 新型コロナウイルス五類移行後の福祉活動について

生石地区社会福祉協議会会長 田中正昭

生活必需品の調達が困難になります。五類移行後もコロナウイルス感染を防止するため自己管理は必要であり、感染に備えて冷凍食品等の保存食品、高熱時に飲むスポーツ飲料を備蓄しておく必要があると思います。コロナウイルス感染症は終息するまで焦らず、あわてず、油断せず、上手にコロナウイルスと付き合っていくましよう。

### 生石地区の堅実な福祉事業推進を確認

◆生石地区社協総会  
コロナウイルス感染症分類がインフルエンザと同等の五類となり行動制限が緩和され、今年度は理事(区長・自治会長)と評議員(民生児童委員・主任児童委員)出席のもと、六月十三日(火)、生石公民館で開き、令和四年度事業と二会計決算を報告。新年度事業では、小学校の福祉学習を支援、独居高齢者の集い、高齢者健康福祉講座などを継続・推進し、地域福祉向上に努めることを確認。二百九十四万七千七百七十六円の一般会計予算が承認されました。

## 共同募金活動ご協力に感謝します

|             |            |
|-------------|------------|
| 敬老会補助       | 400,000円   |
| 高齢クラブ、長寿者祝賀 | 235,000円   |
| 独居高齢者の集い    | 250,000円   |
| 小学校福祉学習、他   | 105,000円   |
| 学童、サロン助成    | 140,000円   |
| 障がい者施設助成    | 30,000円    |
| まち協・公民館図書   | 80,000円    |
| 民協助成・研修費、他  | 1,493,000円 |

分配金は繰越金を含め、生石地区で次の福祉事業に活用させていただきます。

|     |            |
|-----|------------|
| 目標  | 2,224,000円 |
| 実績額 | 2,947,346円 |
| 配分金 | 1,618,018円 |

令和四年度の共同募金のご協力ありがとうございました。各町、各自治会、事業所、及び個人の皆様のご協力で目標額を達成できました。

## 高齢者が楽しく集う集いの場をつくる

高齢者が楽しく集い健康寿命を延ばすことを目的に、松山市社会福祉協議会、包括支援センター生石・味生、生石地区社会福祉協議会、味生地区社会福祉協議会が共同で企画し、地域の高齢者に集まっていたいただきました。

一回目は、月心会館をお借りして藤山、寛美の名舞台「藤山寛美 十八番箱」上映会、健康体操ゲームで

楽しみました。

二回目は、旧愛媛トヨタ空港通り店をお借りして

◆楽しく学ぼう防災イベントとして愛媛トヨタ、愛媛トヨペットのご協力で災害時の車中泊体験をしました。

・東日本大震災を参考に防災スゴロクでは参加者は大いに盛り上がりました。



・避難時に役立つエコノミークラス症候群予防講座を実施して防災イベントを楽しみました。

## 民生児童委員が認知症サポーター養成講座受講

生石地区の民生児童委員協議会、社会福祉協議会は「認知症になっても住み慣れた地域で周りの人から心温かく見守られ、安心して心安らかに住み続けられる」を活動目標の一つにしています。

そこで、包括支援センター生石・味生の専門職の先生に講演をお願いして認知症サポーター養成講座を受講しました。

講演の内容は色々な認知症の原因、認知症の種類とその症状、対応方法、認知症の予防についてでした。

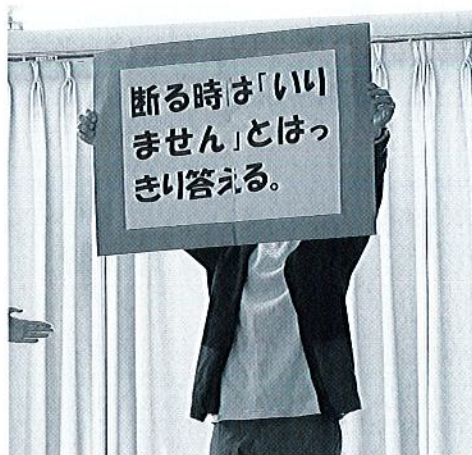
講演後の懇談会では、勉強したところ、民生委員同士で今までの経験を話し合い、研修の結果を踏まえ、今後の活動にどのように生かしていくべきか話し合いました。





日頃一人住まいの高齢者を見守っている民生委員、みまもり員が高齢者を悪徳商法や特殊詐欺から守る方法を松山市市民生活課から講師お招きして、講義をしていただきました。

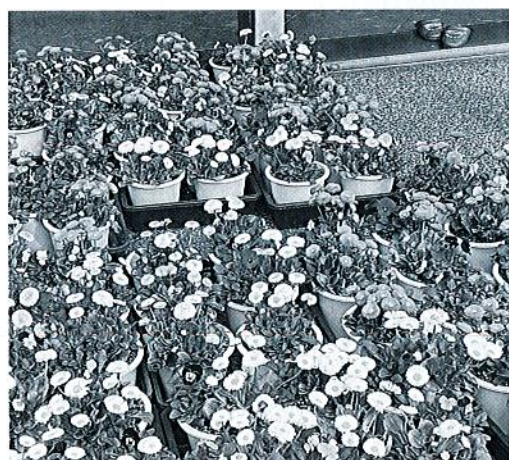
## 高齢者を悪徳商法・特殊詐欺から守る 消費生活講座受講



演劇を通して、高齢者の生活を見守っている、親族、お隣さんが、家の補修工事が異常に増えていることや、宅配の段ボールが多いことで悪徳商法に気づき、連携し、警察等の協力を得て、悪徳商法から実際に高齢者を守るものでした。

日頃から高齢者の見守りを行っている民生委員、みまもり員としては、健康の他にもいろいろな相談に乗り、悪徳商法の気配に気づき、高齢者を見守る必要と方法を学び、今後の見守りに活かせるものでした。

また、携帯電話を利用した特殊詐欺を防止するための講演も聞き、今後の見守りに参考にしたいと思いました。



## お一人住まいの 皆さんと共に

例年三月第一土曜に、見守りを行っている独居高齢者の皆さんと共に会を開催していますが、今年もコロナの為、やむなく中止いたしました。



いつも会を盛り上げてくださる西中、生石保育園の子どもたちもきつと残念に思っていることでしょう。来年こそは、皆様にお会いできます様思いを込めて、今年もお花の鉢植えをお届けしました。

## 「私の体験・思い」 民生児童委員リレーコラム

私は、高校卒業後、大学・就職と松山を離れて過ごし、定年後に松山に帰ってきました。それで地区内の状況もあまり知らないような状況でした。それが専任の方が病で亡くなられ、急に民生委員をお願いしますと言われ大変戸惑いました。

最初は、周りの民生委員の方に教えを受けて出発しましたが、色々わからない事に出くわし、大変苦労しました。

また、トラブル等もあり、包括支援センターの助けも受けながらなんとか乗り越えてこれ、七年経ちました。

未だにわからない事も沢山ありますが、地域の住民の方との会話も増えて、地域のこと少しは理解できるようになり活動していますが、今後も地域に貢献できるように努力していきます。

(高本 嘉夫)

## 今年も生石小学校4年生の生徒から 一人住まいの高齢者へ 心温まるお手紙と プレゼントカードを送りました。

生石小学校では、ハンディキャップのある方への理解と思いやり、高齢者への尊敬といった育む「あったかい町生石」という学習に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染拡大で色々な福祉学習が制限されるなか、春休みを前にして、四年生が三人一組となり、生石地区の一人住まいのお年寄りに送るため心温まるお手紙と、一生懸命に工夫したプレゼントカードを作り、民生児童委員が一人一人に届けました。

手紙には高齢者にとって孫、ひ孫世代の子供の学校



や家庭での活動や遊びや、高齢者への励ましの内容が書かれており、自分の子育て、孫との交わりを思い出し、親しみを感じたようです。

このような地域の絆づくりを育み、世代間のつながりを作る取り組みに、受け取った高齢者の方は大変感激し喜ばれました。

## 一人住まいの高齢者への手紙

生石小学校4年 未空、煌馬、佑太

春とはいえまだまだ寒さが続きますが、いかがお過ごしですか。

私たちは、生石小学校4年生です。

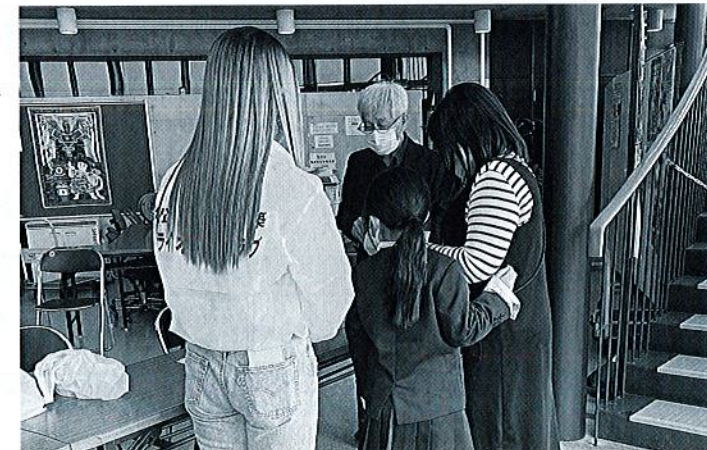
4年生では、何度もあきらめずに練習して、苦手だったとび箱が飛べるようになりました。

5年生になったら、高学年として委員会活動を頑張りたいです。委員会で学校を楽しみたいです。

これからもお体を大切に、いつまでもお元気でいてください。



## 秋開催予定 「ふれあい食堂」の プレイベント



まちづくり協議会と、生石地区福祉協議会による地域交流の「ふれあい食堂」、コロナによりのびのびになっています。

開催までのつなぎの一環として「湯築ライオンズクラブ」のご協力のもと弁当五〇食を配布しました。今回はプレイベントの為、生石保育園に通っている親子を対象に希望者に配布しました。

第二弾として「ハートクラブ」の弁当四一食を配布いたしました。